



School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

「どうして小林で働いているのですか？」
「今の職業を選んだのはなぜですか？」。施設見学や職業講話でよくある、子どもたちの質問です。聞かれた大人にとっては、ひとことで説明するのは難しいのですが、それでも、「小林が好き」「特技を生かしたい」「故郷のために」など、さまざまな答えが返ってきます。

短いやり取りですが、まさにキャリア教育だと、その都度思っています。地域学校協働活動は「大人の生き方」に触れる絶好の機会です。活動のテーマに沿った話題に加えて、仕事の苦労や喜びについてもお話しいただくと、世の中に対する子どもたちの視野もさらに広がることでしょう。

活動に参加している大人は全員が「よのなか先生」です。



さつまいもの苗植え

西小林中 2年生



木村さん(木村農園)

技術家庭科の授業。広い畑に「黄金千貫」と「紅はるか」の苗を2人1組で植えました。秋に収穫した後、さつまいも使った郷土料理を地域の方に教えていただきます。

小林おうえん団 I

南小 3年生



出の山のホタル

山下さん・川野さん
(商工観光課)



昆虫の世界

木野田さん(綾町ユネスコエコパーク推進室)

小林市の良さを知り、それらを守るためにできることを考える授業。2つのテーマで、それぞれ1時間の授業をしていただきました。

子どもたちは初めて見る写真や標本に、時には驚きの声をあげて説明を聞いていました。終わりにはたくさんの質問と感想が出され、関心の高さが伺えました。



小林小 3年生

山下さん・横山さん・川野さん(商工観光課)

ホタルの一生やオスとメスの違いなど、クイズも交えながら、ホタルの生態について学習。その後、「出の山のホタル」を守るためにできることを考え発表しました。

ホタルについて知り、好きになった子どもたちは、小林の豊かな自然を大切に守りたいという気持ちをより一層強くしたことでしょう。



上手にできたね!

野尻小 1・2年生

地域の営農組合が後援。食育の一環として、1・2年生が、学校近くの「なかよし畑」で毎年行っています。組合員とJAこばやしの皆さんに教えていただきながら植えました。



車輪に突起が付いた道具で穴をあけます。

紙屋小 1~3年生

3年生がマルチを張り、始めと終わりに会の進行をするのが恒例になっています。校内の「わくわく農園」に紅はるかを植え付けました。

【お礼の言葉】 気をつけたのは、横にしながら深く差すことです。たくさんのお手伝いありがとうございました。(協力はJAこばやし青年部と保護者の皆さんです)

農家民泊をされている方から聞いた話です。

都市部からの修学旅行生の中には、土に触ったことがない生徒もいます。ぎこちない様子で畑仕事に取り掛かりますが、慣れるにつれて、喜んで仕事を引き受け、楽しく活動するようになります。そんな生徒たちの姿を見るのも受け入れる側の楽しみの一つです。



田 植 え



紙屋小・中合同



小学生は地域コーディネーターの杉元さんから植え方を教わりました。



5年生13名と中学生25名で実施。小・中のPTA役員や生活指導部の皆さんに協力していただきました。体験学習に加え、小中連携と地域の絆づくりも目的としています。

【お礼の言葉】3か月後の稲刈りもご協力お願いします。

西小林小 5・6年生

協力：PTA役員・JAこばやし青年部

見上げているのは…



社会科で農業の学習をしている5年生が、事前うねづくりを体験。保護者が肥料を散布してくれました。ドローンで撮影した空からの映像も良い思い出になることでしょう。

【お礼の言葉】手で植えていた昔の人の苦勞が分かりました。



野尻小 3年生



美土里ネットの方から田んぼのお話を聞きました。



協力：営農組合・JAこばやし

「今日を楽しみにしていました」という児童代表のあいさつで始まりました。米作り体験を通して、自然や人などの地域のよさに気づくことがねらいです。

たくさんの大人たちと野尻保育園児も加わり、にぎやかな田植えになりました。機械で植える様子も見学しました。



細野小 5年生



全員が水着で田植え。いつの頃からか「泥んこタイム」が恒例になっています。3分の2ほど植えてから田んぼの中で大はしゃぎ。泥んこのまま残りをしっかり植えました。

(協力：細野まちづくり協議会・JAこばやし青年部)

【児童のあいさつ】◆ お米を作る苦勞や楽しさを味わい、1本1本、おいしくな〜れと願って植えたいです。

◆ 草抜きや稲刈りをがんばるので、これからもよろしくお願ひします。



永久津小・中合同



協力：営農組合・JAこばやし

1列に並び、きれいに植えていきます。

小学5年生10名と中学生32名が参加。小学生と中学生と一緒に始めの会を行いました。

経験豊富な中学3年生は手際もよく、5年生や1・2年生に植え方を丁寧に教える場面も見られました。

須木中 ドリームジャンボ学園

開級式と講演



社会福祉協議会 須木支所主催



社会福祉協議会による職業学習支援事業です。第1回目はリモートによる講演。講師は宮崎市にお住いの元県教育長、飛田洋さんです。

「あなたのエベレストにスキップして登れ(そして手を取り合え)」と題し、これからの時代を生きていく中学生に伝えたい思いを熱く語っていただきました。

生徒たちは、各学級でメモをとりながら、真剣な表情で聞き入っていました。



School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

学校向け

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)



「戦争はなぜ起きるのでしょうか? 『自分の考えは正しい』という傲慢さだと私は思います。相手の意見に耳を傾け、相手の考えを尊重することが大切です。相手を許す心があれば平和に近づきます。平和を作ろうとする人

は友だちが集まってきます」

須木中の「戦争語り部講話」から桂木さんのお話を紹介します。

県遺族会の協力で、行われている平和学習

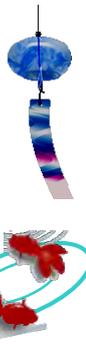
桂木喬さん(90歳) 元英語教師、野尻中を最後に退職。社会教育指導員や、野尻小でボランティアの算数指導をされてきました。終戦の年(1945年)は小学校6年生でした。

- ◆ 空襲警報が鳴ると休校になり、自宅の防空壕に避難しました。米軍機が、空になった燃料タンクを捨てるのが見え、爆弾だと思いました。◆ 「灯火管制」で、夜は電灯のまわりを黒い布で覆っていました。◆ 米軍が電波妨害でまいた銀紙を拾いに行ったこともあります。
- ◆ 学校では、竹やりで人を殺す訓練もしていました。
- ◆ 沖縄戦の頃、昼間はグラマンが野尻まで飛んできて、夜になると艦砲射撃の「ドーン」という音が聞こえました。
- ◆ 沖縄の小学生が野尻にも疎開していました。疎開船が攻撃され、数百名の子どもが亡くなったこともあります。
- ◆ 優秀な2人のいとこがいて、兄は陸軍士官学校、弟は海軍兵学校に進みましたが、真珠湾攻撃で戦死しました。27歳と25歳でした。戦死するために勉強したようなもので、とても残念です。◆ 「男は戦争、女は家を守る」ことが当たり前の時代、将来を決める自由は全くありませんでした。◆ 戦後、教科書の指示された箇所を墨で塗りつぶすことから授業は再開しました。

「戦争の悲惨さを伝えるだけでなく、平和につながる具体的な話も必要ではないか」と考え、桂木さんは、冒頭で紹介した人間関係作りにも触れるようにしています。お話の最後、教師時代に学級の生徒たちと朗読していた大好きな詩を紹介してくださいました。

だれもかれもが力いっぱい
のびのびと生きてゆける世の中
だれもかれも「生まれて来てよかった」
と思えるような世の中
じぶんを大切にすることが
同時にひとを大切にすることになる世の中
そいう世の中を来させる仕事が
きみたちの行くてにまわっている
大きな大きな仕事
生きがいのある仕事

【吉野源三郎】



「世の中」を「須木中学校」に替えて読んでみましょう、と桂木さん。生徒たちの大きな声が教室に響きました。



七夕づくり

紙屋小 1・2年生

1年生

「紙屋いきいきサロン」の皆さん3名が来てくださいました。飾りは広告のチラシなどを使い、すべて手作り。自宅や公民館(サロン)で、1年前から準備をしてきたそうです。皆さんは紙屋小の子どもたちとの交流をととても楽しみにしています。10年以上続いている活動です。

社会科見学

社会(科)見学は、教科の学習効果を高めることに加え、地域の生活(環境)への理解・生涯学習の基礎作り・地域と一体となった学校づくりなどに貢献すると言われています。5・6月に実施されたものを紹介します。

西小林小 4年生【清掃工場】



ゴミ分別「虎の巻」を知っていますか?

谷村さん NPO 法人「赤とんぼ」

家庭で分別されたごみの処理方法やリサイクルのしくみなどについて、工場内の機械が動く様子も見ながら学習。ごみを減らすことの大切さも学びました。※ 分別への市民の協力の結果、最終処分場(埋立地)の寿命が70年伸びたそうです。

三松小 4年生【議場】

案内は議会事務局の皆さん



「条例や予算を決める」「市の仕事が正しく行われているかを調査する」など、議会の役割を学んだ後は、マイクを使って発言する体験もしました。最後は森田議長とも面会でき、議会を身近に感じる良い機会になりました。

幸ヶ丘小 3・4年生【すき特産】

平川さん
(すき特産)



去年は40トンの栗を収穫しました。



栗とゆずの集荷場・加工場・売店を見学。加工場ではゆずを加工する様子も見ました。すき特産では生産・加工・販売の6次産業化を図っており、輸出もしています。4人の子どもたちは、たくさん質問をして熱心に学んでいました。

永久津小 6年生【市庁舎】

案内は管財課と議会事務局の皆さん



ギネス世界記録(「ひとつの椅子に連なって座った最多人数」)の椅子に連なって座ってみました。



開会前です。この後、20分ほど静かに傍聴しました。

市役所へは、行きも帰りも「のりやいバス」。こちらもよい経験になったことでしょう。

南小 3年生【株式会社ミヤザキ】

アクリル等の特注加工専門の会社です。



みなさんの今の仕事、「勉強」をがんばってください。

山之上社長



山之上社長は小林出身。会社を興し、大きくした経験をもとに、目標に向かうことの大切さを話してくださいました。その後、子どもたちは、日本一と言われる最先端の設備を備えた工場内を興味津々の様子で見学しました。

永久津小 4年生【九州北清・清掃工場】



中央制御室(北清)

廃棄物の種類や工場のしくみについてのお話を聞き、施設の見学をしました。



定規は素材で分別が変わります。

燃えるゴミを集める所と廃プラの処理の様子を見学。リサイクルのお話も聞きました。

小林市の燃えるゴミは九州北清とえびの市美化センターで、お金を払い処理してもらっています。燃やすゴミが減れば費用も減ります。

東方小 6年生【二原遺跡】

小林ガイドボランティア協会の皆さん



遺体と副葬品が埋葬されていました。



地下式横穴墓の構造や歴史についてのお話を聞いている子どもたちの表情は、驚きや好奇心で一杯でした。7月14日には、県埋蔵文化財センターとのオンライン授業を行い、学習をさらに深めました。授業の様子は後日紹介します。

避難訓練

自校方式で実施した2校と、幼保小中連携の取組を紹介します。



保健室



幸ヶ丘小

外から見えないように体を低くします。

【不審者侵入】→1階の担任2人が対応→1階の児童は保健室へ(一時避難)・保健室から通報→全校児童が理科室へ避難・職員が安全を確保



正門に「お客様」(不審者)が来られました。

緊急放送

須木小

【不審者侵入】→事務職員が教頭へ連絡→教頭が対応・事務職員が緊急放送→グラウンドへ避難・職員数名が不審者に対応→安否確認

野尻中校区合同

災害時の引き渡し訓練



野尻中では小学校校区で駐車場を分けていました。



【野尻小・中・幼稚園・保育園が参加】→職員集合・最終確認→生徒・保護者へ連絡→地区ごとに生徒が集合・人数確認→車両の誘導→引き渡し迎えに行く順番は家庭で決めているそうです。



School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け



西小林中 3年生

福祉の授業に「高齢者疑似体験」があります。様々な器具を付け、体が不自由な状態で日常生活を想定した動きをするものです。その一つ、「財布からお金を出して数える」動作は、目がかすむメガネをかけ、手袋で感覚が鈍った指ではとてもやりづらい作業です。子どもたちは難しい活動を通して高齢者の気持ちを理解し、自分に何が出来るかを考えます。スーパーのレジで、支払いに苦勞する高齢の方を時折見かけます。後ろで待っている間、授業の光景と、あるひと言を思い出しています。

「年より笑うな行く道だもの」

この言葉を、故 永六輔さんがお寺の掲示板から書き写し、著書で紹介していました。その前には「子ども叱るな来た道だもの」とあります。(疑似体験の指導は社会福祉協議会の皆さん)



読書



入浴

トニーさんと交流

アントニア・シュルトさん
(国際交流員)



ジャガイモのお団子です。



イツヒ・ハイセ OO

家族のことや、ドイツの地理や気候、民族衣装、家のつくり、食べ物などについて、たくさんの写真を使って説明してくださいました。後半は、ゲームで楽しく過ごしました。1年生も簡単なドイツ語で自己紹介をしました。

西小林小



3年生



やった～
さらに50点!

4年生

クイズやゲームなどを通して、ドイツの文化や日本との違いについて学びました。正解するたびに子どもたちからは大きな歓声が上がり、楽しみながら国際感覚を養っていました。休み時間には、トニーさんとの会話も弾みました。

読み聞かせ



片地さん(あすなろ会)
山下さん(須木分館)



須木中 1・2年生

絵本は「スイミー」と「かべのむこうになにがある」。生徒たちは、時折目を閉じながら、ゆったりとした様子で聞き入っていました。

【感想】「スイミー」は読んだことがあるので、今日読んでもらってうれしかったです。



1年生

小林小 1～3年生

くすの木文庫の皆さんが、月に1度来てくださいます。この日は、コロナ禍で久しぶりの読み聞かせ。皆さんも、9クラスの子どもたちも、絵本の世界を心から楽しんでいました。

細野中 1・2年生

「ママーズ」の皆さん



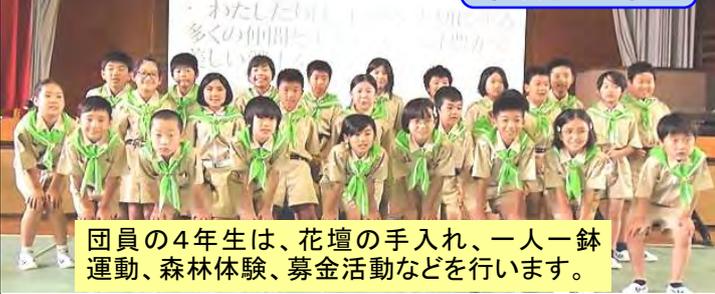
手あそび歌



「熱心に聞いてくれるのでうれしいです」と、読み聞かせの方からよく聞きます。細野中でも「はらぺこあむし」を懐かしそうに、(本を読まない)「語り」に真剣に耳を傾け、手あそび歌で笑顔に…。ほのぼのとしたひとときでした。

緑の少年団 結団式

栗須小 4年生



団員の4年生は、花壇の手入れ、一人一鉢運動、森林体験、募金活動などを行います。

合言葉は「切って、使って、すぐ植える」です。



【お話】 高津佐さん・井出平さん (小林市農業振興課)

【主な内容】 ◆ 日本の森林 ◆ 森林の役割 ◆ 木材の長所 ◆ 宮崎県の林業 ◆ 市役所の建物 ◆ 杉の木の話など

お話の後、感想と活動目標を一人ずつ発表。その後、「みどりの少年団憲章」を

朗読しました。この日は参観日、保護者の皆さんも、子どもたちの発表に温かい拍手を送っていました。【発表より】 ◆ 杉の木を切るまでに35年かかると聞いて、びっくりしました。 ◆ 地球温暖化のことも考えていきたいです。 ◆ 募金活動がんばりたいです。 ◆ 花壇をきれいにしてお母さんをびっくりさせたいです。 ◆ 木の名前をおぼえるのをがんばりたいです。

薬物乱用防止教室



正しい知識ときっぱり断る勇気が大切です。



紙屋中

薬物の恐ろしさを伝えるDVDの後、薬物の種類や脳への影響、乱用者の注射痕などについて、スライドによる説明を聞きました。講師は溝俣さん(小林警察署)

【お礼の言葉】 今日学んだことを生活に生かし、大人になっても薬物を使用しないことを誓います。

西小林中



今の自分をもっと良くする「薬」はありません。



薬物の種類、脳(心と体)に与える影響、薬物に手を出さずきっかけ、誘われた時の具体的な断り方などについて学びました。

講師は松山さん(学校薬剤師: こすもす薬局)

【お礼の言葉】 今までで分らなかったことをこの授業で知りました。誘われても、勇気をもってしっかり断ります。

細野小 非行防止教室

4年生



たろう君と両親はどんな気持ちだったでしょう?

万引きをしたたろう君の物語。勢いよくたくさんの手が挙がりました。



「決まりを守らないとどうなるのか、なぜ守らないといけないのか」について考え、悪いことを断る勇気の大切さを学びました。

講師は少年補導職員(都城警察署)とスクールサポーター(宮崎県警)の皆さん4名



紙屋中 手話講座

I love you!



3年生

手話は形やしぐさから生まれました。

物の名前や動作・感情を、手話でどう表現するか予想することから始まりました。あいさつ、自己紹介と続き、最後に「糸」と「365日の紙飛行機」を手話で「歌い」ました。

指導は福本さん・圖師さん・山口さん(野尻手話サークル)

福本さん

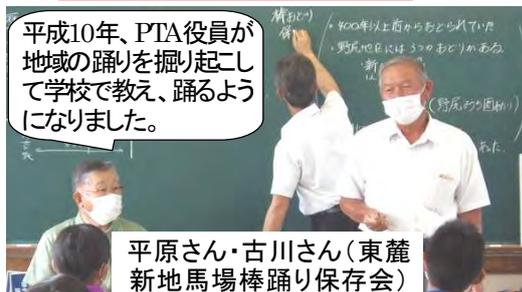
【お礼の言葉(手話を交えて)】 今日の授業を生かして、多くの人と触れ合いたいです。



野尻小 棒踊りの授業

5年生

平成10年、PTA役員が地域の踊りを掘り起こして学校で教え、踊るようになりました。



平原さん・古川さん(東麓新地馬場棒踊り保存会)



DVDを見た後で、棒踊りの歴史や衣装・道具、動作の意味などについてお話を聞きました。保存会の皆さんに教えていただきながら練習を重ね、5・6年生が運動会で披露します。

DVDは小林市郷土芸能フェスティバル(H29)のもの。その時披露されたのは、棒踊りの他…紙屋城攻め踊り、剣舞一の谷(須木)、東方輪太鼓踊り、永田町馬踊り、岡原田の神踊り、細野一区輪太鼓踊り、鉦踊り(栗須)、真方一区兵児踊り、いちよう太鼓(須木)。今年10月、4年ぶりに開催されます。



School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け



残暑お見舞い申し上げます

夏の風景
～ 3校の取組より ～



栗須小PTAのプール開放。水質と水温の管理は学校が行い、救急救命法の研修を受けた保護者が交替で監視に当たりました。

夏休みの9日間、毎回30名以上の子どもたちがやって来て、大小2つのプールは笑顔と歓声で溢れていました。この日は6名の保護者がそれぞれの監視場所で見守っていました。



「河川愛護月間」に
合わせ、PTAが実施



こちらは東方小。河川敷の清掃、ウナギの放流、ニジマスのつかみ取りの様子です。漁協の協力を得て、毎年行っており、今年は約30家族が参加しました。夏休みの楽しい思い出です。



ここはどこ
でしょう？

思いっきり 須木を 見よう。

おすすめのスポットを写真
と動画で紹介します。

須木小の職員研修です。

ままこ滝



2人1組で「須木のよかところ」を巡り、写真と動画を使って発表しました。タブレットの扱いに慣れ、地域の教育資源を共有します。地域の魅力を紹介することが教師の学びにつながり、子どもたちへも還元できる取組です。

最後は校長先生から、教科指導(基礎教育)と、「人権教育」や「キャリア教育」と呼ばれる教育課題(実践練習)についてのお話がありました。

社会科見学

三松小 2年生【淡水魚水族館】



世界の珍しい淡水魚1,500匹が展示されています。悠々と泳ぐノースキャットやアロワナ、特別天然記念物のオオサンショウウオなど、なかなか見ることがない魚を、子どもたちは驚きと好奇心いっぱいの様子で見回りました。

永久津小 6年生【えびの市歴史民俗資料館】



学芸員の中野さんが、地図や写真を用い、小林市の文化財や遺跡、古墳について説明してくださいました。その後、時代ごとに分けられた旧石器時代からの展示品を見学。柄(つか)にエイの皮を巻いた銅剣やハエのサナギが付いた鉄の矢じりなど、珍しい副葬品もありました。

【事務局より】 ◆ 取材と掲載の順序が前後することがありますが、ご容赦ください。訪問した活動についてはすべて紹介させていただきます。 ◆ 「投稿ボックス」もご利用ください。 ◆ 「課題と方向性」の提出が8月24日までとなっています。よろしくお願いします。

西小林小 3年生【校区内史跡巡り】

鬼目薬師堂



大出水湧水池



小林の歴史や文化の学習です。鬼目薬師堂では、地域の方が薬師如来を何代にも渡って守り続けているという話に驚いていました。

【案内】小林ガイドボランティア 【見学地】菅原神社 勧請丘(エヒメアヤメ自生地)・大久保小学校跡

三松小 6年生【歴史ウォークラリー】



関ヶ原役記念碑・西南戦争慰霊碑



飯田家五輪塔

関ヶ原の戦いで西軍について佐土原藩はとりつぶしに。一部の藩士と家族が堤地区に移住しました。当時の移住者たちの心意気が「三松魂」として受け継がれています。

【案内】小林ガイドボランティア 【見学地】内待塚(墓と慰霊碑)・里程標・田中の鼻(開拓の記念碑)

読み聞かせ

紙屋中 1・2年生



大浦さん(たんぼぼ)

月に1度実施しています。夜明けの風景を描いた「よあけ」とアナグマの死を通して愛情や友情の大切さを描いた「わすれられないおくりもの」の2冊を読んでもらいました。

西小林中生が母校で読み聞かせ

4名の3年生



西小林小



小中連携の取組で、年3回行われています。2人ずつ1・2年生の教室に入り、小さな後輩たちを絵本の世界に誘ってくれました。4人とも、読み手に立候補したそうです。

幸ヶ丘小



1・2年生

3年生男子2人と1年生女子1人が来校。絵本は西小林小で借り、繰り返し練習して本番に。直前まで読みの確認をしていました。

中学生による読み聞かせが始まって3年、小学生も中学生も楽しみにしている活動です。

三松中 社会人の声を聞く会

3年生



講師は7職種 11名の皆さん

グループごとに希望するブース4か所を訪問。仕事の内容・やりがい・苦勞など、直接お話を聞きました。進路について本格的に考え始めた3年生にとって、将来の自分をイメージするよい機会になったことでしょう。

【お話より】 ◆ 人口減少で働き手が減っており、みんなを必要とする職場は必ずあります。(青野さん: Bridge the gap) ◆ これからは、働いた時間ではなく、量で給料が支払われる時代です。(坂下さん: 坂下組) ◆ 得意・好きなこと、苦手・嫌いなことを軸に進路を決めることも大切です。(川野さん: 市観光協会) ◆ 当たり前のことができないと、大人の世界は大変です。(淵脇さん: ソニー生命) ◆ 得意なものを持っているといいことがあります。(瀬戸口さん: 池井病院) ◆ ありがとうの言葉にやりがいを感じます。(和田さん: トヨタカローラ宮崎) ◆ 妹が生まれたのをきっかけに、人の成長を見る仕事に就きたいと、7歳の時に思いました。(中山さん: キャリアコンサルタント)

永久津中 救急救命法の学習

指導は西諸消防本部の皆さん3名



登校日に実施。心臓マッサージやAEDの必要性と使用方法について詳しく説明を受けた後、学年に分かれ、人形を相手に取り組みました。消防士のアドバイスを受けながら全員が体験し、生徒たちは真剣な表情で「命」への理解を深めていました。



School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

学校向け

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)



紙屋中の1年生5名が、地域の生きがい学級「スマホ教室」で、スタッフの補助を務めました。

生きがい学級は社会教育課の事業。高齢者を対象にさまざまな講座を開いています。野尻地区の担当は堀さん(社会教育指導員)、講師は本田さん(ドコモショップ小林店店長)と2名のスタッフ。協力は藤田さん(キャリア教育支援センター)

受講者の多くはスマホに触れたことがありません。本田さんの説明に沿って、中学生たちは、参加した皆さんといろいろな会話をしながら、操作方法を丁寧に教えていました。

【担当の堀さん】中学生が来てくれて大変助かりました。



もしも



細野小では、霧島岑神社に奉納する灯ろうに児童が絵を貼りました。



霧島岑神社の「六月燈」は、コロナ禍で今年も中止になりましたが、灯ろうは例年通り飾られました。

細野まちづくり協議会の呼びかけで、幼稚園・保育園・施設などからたくさんの絵が寄せられ、細野中は美術の授業で取り組みました。

昼休み、校舎内にあるまちづくり協議会の部屋(空き教室)に子どもたちが集まってきました。事務局の中島さんに教えてもらいながら、自分や家族の作品を含め、寄せられた絵を100個の灯ろうに、次々に貼っていきました。

【中島さん】以前は協議会のメンバーだけで作業をしていました。子どもたちが手伝ってくれて、とても助かります。



中島さん



右はお母さん作



霧島岑神社

上級生が糊をつけて

地域と学校、両方にメリットがある取組です。

スマホ教室では、スタッフが増えることで担当者に余裕ができます。参加者は1対1で丁寧に教えてもらえるので理解しやすくなり、1年生は地域の方とのふれあいを通して、

コミュニケーションの方法を学ぶことができます。

灯ろう作りも同様です。協議会の皆さんの手間が軽減され、地域の方にも喜んでもらえます。子どもたちにとっても、自分が作った灯ろうが境内を照らすことで、満足感や達成感を得られます。

これがよく言う「Win-winの関係」なのでしょう。そして、学校が行う活動のほとんどが、結果的に地域に良い影響を与えています。「子どもたちに元気をもらいました」とか「一緒に活動して楽しかったです」と、参加者からよく聞く感想はその一例だと思います。

こちらは野尻小。東麓六月灯まつりの準備です。保護者と地域住民が体育館に集まり、灯ろうと大きなあんどんに、全校児童が描いた絵を貼りました。まちづくり協議会の主催です。



東方小 地域の特産品をPR



ここをデザイン

商品を売るには見た目も大事。皆さんのデザインが商品に貼られます。



3年生



平川さん (すき特産)



加工場や売店を見学した「すき特産」の商品「ゆずびーる」の袋をデザインしました。試食でイメージを膨らませた後、平川さんや先生にアドバイスをもらいながら完成。後日、子どもたちすべてのデザインが売店に並びました。

三松小 ものづくり体験学習

6年生



3つのコースで実施。それぞれ、ものづくりマイスターの皆さん(技能士)が丁寧に教えてくださいました。そのおかげで、全員、「いい仕事」ができました。

※写真は「盆景」。土や砂、石、コケ、草木で自然の景色を表現します。

西小林小・幸ヶ丘小 交流学習

5・6年生



「染色」型紙に沿って染料で色を付けます。

「銅板レリーフ」(板金)



目玉焼きに合う調味料は？

【5年生】宿泊体験の事前学習。班編成と係決めなど



【6年生】仲間づくりを目的としたコミュニケーションの授業。飛松先生(幸ヶ丘小)によるプログラミングの授業(自動車を図形に沿って走らせます)



幸ヶ丘小の5年生2人と6年生1人が西小林小へ。1年生の時から何度も交流しているからでしょう。子どもたちはごく自然に打ち解け、仲良く活動していました。

東方中 福祉体験学習

1年生



2日にわたって実施。1日目は東方保育園訪問・車椅子体験・高齢者体験。2日目は3人ずつ3班に分かれて施設を訪問。入所者と交流したり、作業を手伝ったりしました。

同じ日、2年生の13名は職場体験学習。希望した職場に1人ずつ訪問しました。

協力は…【1年生】社会福祉協議会・陽光の里・ふれあいの里、さくら保育園。【2年生】dogroom ういんわいど・ガーデンベルズ小林・コープみやざき小林店・こすもす支援学校小学部・ビーフック・ビューティードギワールド・ファミリーマート堤店・フラワーショップ花華・まちなか松栄・ローソン真方店・丸商建設・小林警察署・東方小学校



【事務局より】 ◆ 校長先生・学校コーディネーターの先生には、課題と方向性の原稿を提出していただき、ありがとうございました。後日、まとめたものをお届けします。

◆ 今後、活動の中止や変更が予想されます。訪問の際は、事前に事務局からお尋ねしますので、変更等の連絡は不要です。また、訪問できない場合に各学校のホームページの画像等を使わせていただくことがあります。

ご協力を、よろしくお願いします。

小林中 薬物乱用防止教室

薬物に陥らないためにも、夢を持ち、人生を大切に過ごしてください。



山口さん(小林保健所主任技師: 薬剤師)

内容は「薬物依存・乱用とは」「薬物の種類と危険性」「薬物乱用に陥らないためには」。

沢山の写真を使った分かりやすい説明を通して、生徒たちは、薬物の怖さと同時に、断る勇氣を持つことの大切さを学びました。

【お礼の言葉】薬物乱用に陥らず、人生や家族を大切にしていきたいです。

2年生

西小林中 職業講話



千田さん(北きりしま田舎物語事務局)

古川さん(株グローバルリーフ管理薬剤師(二葉薬局))



原田さん(LEARNERS MEET 代表)

外山さん(地方創生課シティセールスプロモーター・CA)

4人の方に、仕事の苦勞や喜び、ご自身の生き方についてお話していただきました。生徒たちは各ブースを回り、ワークシートに記入しながら熱心に聞き、質問をしていました。

【お話より】 ◆ 地域の魅力と食や農業の大切さを伝えたいと思っています。(千田さん) ◆ 高齢の方を訪問し、薬を飲み忘れない工夫もしています。(古川さん) ◆ ANAではシカゴとボストン航路を担当していました。(外山さん) ◆ 「なりたい自分」を考えるためには、考える力、やってみる力、立ち止まり振り返る力が必要です。(原田さん)

【お礼の言葉】 ◆ 自分のためだけでなく地域のために働くことを学びました。 ◆ 足りない点は多いですが、自分の心のケアにも気を配っていきたいです。

◆ 「自分の才能を伸ばす」と言う言葉が心に残りました。自分の好きなことを全力で勉強します。

◆ 夢を達成できるように頑張りたいです。



School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け



1学期後半が始まり、いくつかの活動を見せていただいています。残念ながら中止になったものもあり、コロナ禍での地域学校協働活動の難しさを感じます。

一方、内容を変更し、さまざまな感染対策を講じて実施されている取組も多く、子どもたちの学びの場を保障したいと願う先生方の思いが伝わってきます。

写真は手話の学習よりジェスチャー(西小林小3年生)

細野中 将来の生き方を考える講演会・対話集会



好きなことを自分の為にするのは「趣味」、人の為が「仕事」と言えるかもしれません。

水永さん

区長さんと学校運営協議会の皆さん

水永正憲さん (県キャリア教育支援センタートータルコーディネーター) 旭化成執行役員延岡支社長や顧問などを歴任

- 【お話の主な内容】 ◆ 社会と若者の現状
- ◆ 働くとは・幸せとは ◆ 産業構造の変化となくなる仕事・生まれる仕事 ◆ 日本企業の国内回帰 ◆ 親も先生も経験したことがない未来の可能性(わくわくするような未来)
 - ◆ 勉強することの意味 ◆ 仕事をどうやって見つけるか ◆ 感謝すること・感謝されること ◆ 失敗や挫折こそ…

前半は水永さんの講演会。なくなる仕事がある一方で、「親も先生も知らないわくわくするような未来が待っています。社会の変化を不安に思うより、夢や希望をもち、自分の可能性を広げよう」というメッセージがとても新鮮でした。



中学卒業後、九電工に入り、定時制高校を卒業しました。

3年生

後半は「哲学対話」。何を言ってもいいし聞いていなくてもいい。ただし人の意見を否定したり茶化したりしない、などのルールに沿った対話集会です。地域の皆さんも加わり、グループでテーマを決めて自由に話し合いました。



【お礼の言葉】 ◆ お話を参考に、自分のキャリアプランを作っていきます。 ◆ 幸せについて考えたことがなかったので、とてもいいきっかけになりました。

三松小 岩戸神楽の学習

4年生



岩戸神社や岩戸神楽の歴史について知ろう

伝統文化(郷土芸能)を守るために大切なことは?

講師は井上さん(社会教育課)。たくさんの写真を使い、わかりやすく説明してくださいました。遺跡や化石のお話もあり、子どもたちはワークシートに記入しながら熱心に聞き、郷土の歴史と伝統を守る方法を真剣に考えていました。

西小林小 手話の学習

3年生



起きる時の目覚まし、訪問客を知らせるチャイム、病院での会話など、聞こえない人の生活を想像し、発表しました。「あいさつおぼえうた」と指文字の自己紹介も教えてもらいました。

【お礼の言葉】 ◆ お話の中で「思いやり」という言葉が心に残りました。 ◆ 耳が聞こえない人や目が見えない人に優しくしたいです。(指導は木の実会の皆さん)



5年生



先生も発表

聞こえない人の生活や伝え合う方法、挨拶などを学習した後、指文字と簡単な手話で自己紹介に挑戦しました。子どもたちは、真剣に、そして楽しく手話に触れながら、その大切さや必要性を理解していました。

西小林中 国際理解講座

3年生



マーシュ・グレアムさん
宮崎県国際交流員

マーシュさんはイギリス出身。県のオールミヤぎき営業課に所属しています。イギリスの文化や日常生活、英語のことわざなどを教えてもらいました。後半は生徒からたくさん質問が寄せられ、(英語で)盛り上がりました。マーシュさんの趣味は武道と料理だそうです。

紙屋中 陶芸教室

1年生



総合的な学習の時間「ふるさとを知る」。講師は園田さん(園田陶苑)



粘土のひもを重ねる「ひもづくり」という技法で、湯飲みや一輪挿しなどを作りました。今後は素焼きや絵付けなどを経て、文化発表会で披露します。1年生が、毎年体験している活動です。

野尻小 国際交流学習

4年生



榎屋さん・野田さん
国際交流支援の会



ネパールの小学生とオンラインで交流。互いの学校を紹介し、歌や踊りを披露しました。



ネパールについてグループで発表した後、現地の小学生と交流。小林でニジマスの養殖を学んだグルング博士たちも加わりました。野尻小とネパールの交流は長年続いています。

小林中 職業講話

2年生



社会人のイメージは?



お話を聞いた後で、池井病院のお二人と

16の事業所(個人)、20名の講師によるキャリア学習です。

グループで4つのブースを訪問。20分ずつお話を聞きました。こういう機会に、社会人から生徒が多くのことを学べるのはもちろんですが、講師の皆さんからも、「生徒さんの反応が刺激になりました」とか「自分の仕事を見つめ直すきっかけになりました」などの感想が寄せられました。加えて、講師同士の横のつながりも生まれたことでしょう。

【協力】キャリア教育支援センター



【講師】◆ 長塚さん(地方創生課) ◆ 宮内さん(自衛隊小林地区事務所) ◆ 中山さん(キャリアコンサルタント) ◆ 下り藤さん(企画政策課) ◆ 外山さん(地方創生課シティセールスプロモーター) ◆ 福森さん(地域おこし協力隊) ◆ 楠元さん(長寿介護課) ◆ 古川さん(二葉薬局管理薬剤師) ◆ 青野さん(BRIDGE the gap:公共施設の運営委託業務・飲食事業) ◆ 本田さん(ドコモ小林店長) ◆ 瀬戸口さん・平野さん(池井病院) ◆ 和田さん(トヨタカローラ宮崎) ◆ 白坂さん(グリーンシティ小林:地域の電力事業) ◆ 原田さん(Learners meet英語・学習支援等) ◆ 内田さん(坂下組) ◆ 川野さん(市観光協会)

東方小 社会科見学

4年生



清掃工場(谷村さん・赤とんぼ)

妙見水源地(新地さん・上園さん:上下水道課)

「1トンの生ごみは燃やすと3万円、肥料工場に運ぶと1万3千円。年間2千万円の節約」 「小林の湧水はきれいなので消毒剤は最小限」など、説明と質問を通して生活に密着した事柄をたくさん知りました。他にもゴミの分別の大切さや家庭の蛇口から水が出る仕組みも学び、収穫の多い社会科見学になりました。(2日間で実施)